

## 【施策10】 家庭における教育を支援します

(施策の現状)

「家庭は、教育の原点である」と言われるように、子どもが親や家族との間に絆を形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身につけていく場です。家庭教育には子どもが一人の人間として生きていくための基礎的な資質や能力を培う重要な役割があります。

しかし、核家族化の進行など、さまざまな社会的変化を背景として、家庭における教育力の低下が指摘されています。

「施策9 地域全体で子どもたちを教え育てる取組みを支援します」で述べたように、県民アンケートでは、郡部に比べて市部において、家庭や地域の教育力が向上していないとする旨の回答が多くなっています。

(基本的方向性)

- ・ 家庭教育の自主性を尊重しつつ、子育てに関する学習の機会や情報の提供、子育てに関する相談体制の整備などの取組みを推進するとともに、親支援のネットワークづくりを促進し、家庭における教育を支援します。
- ・ P T A活動など、学校と家庭の連携によるさまざまな取組みを促進します。

【今後の取組み】

- 子育てに関する学習機会等の充実  
関係機関と連携しネットワークを構築しながら、保護者が子育てに関するさまざまな知識や情報、心構え等について学習する機会の充実を図るとともに、大人と子どもの関わりを充実させるための取組みを推進します。
- 情報提供や相談体制などきめ細やかな支援体制の充実  
保護者に対して、家庭教育に関する分かりやすい情報提供を進めます。また、関係機関との連携を深めながら、きめ細やかな相談体制の充実を図ります。
- 学校と家庭の連携の促進  
P T A連合会<sup>66</sup>等の活動に対する支援などにより、各学校のP T A等が行っている、学校と家庭の連携による家庭教育に関するさまざまな取組みを促進します。

---

<sup>66</sup> P T A連合会……市町村立の小・中学校P T Aの連合組織。

〔施策10 指標〕

指標名	現況値	目標値	備考
家庭教育支援情報へのアクセス数（月平均）（福島県教育委員会ホームページ）	H21年度 357.4	H26年度 500以上	
県内各地で実施された家庭教育事業の数	H20年度 1,020事業	H26年度 増加をめざす	モニタリング指標
十七字のふれあい事業 <sup>67</sup> の応募数	H21年度 42,283組	H26年度 増加をめざす	モニタリング指標

<sup>67</sup> 十七字のふれあい事業……子どもと大人が共通の体験を通して感じたことなどについて、十七字で表現した作品を募集する本県独自の事業（平成14年度から実施）。